



2026年10月28日

各 位

上場会社名 東リ株式会社
代表者 代表取締役社長 永嶋 元博
(コード番号 7971 東証スタンダード市場)
問合せ先責任者 経理財務部長 松本 隆志
(TEL 06-6494-6691)

業績予想及び配当予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、2026年5月8日に公表した業績予想及び配当予想を下記のとおり修正いたしましたので、お知らせいたします。

記

● 業績予想の修正について

2027年3月期第2四半期（中間期）連結業績予想数値の修正（2026年4月1日～2026年9月30日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 中間純利益	1株当たり 中間純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想（A）	52,000	700	900	700	12.34
今回修正予想（B）	53,600	1,900	2,100	1,550	27.32
増減額（B-A）	1,600	1,200	1,200	850	
増減率（％）	3.1	171.4	133.3	121.4	
（ご参考）前期第2四半期実績 （2026年3月期第2四半期）	52,292	1,399	1,710	1,090	18.73

2027年3月期通期連結業績予想数値の修正（2026年4月1日～2027年3月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想（A）	112,000	4,100	4,500	3,400	59.92
今回修正予想（B）	115,000	5,700	6,000	4,600	81.06
増減額（B-A）	3,000	1,600	1,500	1,200	
増減率（％）	2.7	39.0	33.3	35.3	
（ご参考）前期実績 （2026年3月期）	112,337	5,100	5,733	4,459	76.86

修正の理由

2026年5月8日に開示いたしました2027年3月期の連結業績予想につきましては、春以降の中東情勢緊迫化による影響を一部織り込んでおりましたが、原材料価格の高騰、並びに不安定な原材料調達環境が想定以上に長期化し、事業環境が大きく変容いたしました。そのような中、当第2四半期（中間期）では、原材料調達ルートの拡充や一部原材料の内製化推進に取り組み、接着剤をはじめとする各種製品の安定供給に注力いたしました。また、高止まりする原材料価格に対して、7月27日より販売価格の改定を実施した結果、当第2四半期（中間期）の連結業績は売上・利益ともに前回発表予想を上回る見込みとなりました。

第3四半期以降も地政学リスクの長期化や金利の上昇など、依然として先行き不透明な経営環境が続くと予想されます。そのような中、高付加価値製品を中心とする拡販に注力するとともに、販売価格改定の早期浸透や設備投資効果の拡大に努めてまいります。尚、第2四半期連結業績予想の修正を踏まえ、通期連結業績予想につきましても上方修正いたします。

● 配当予想の修正について

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期 末	合 計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
前回予想 (2026年5月8日発表)	—	10.00	—	24.00	34.00
今回修正予想	—	10.00	—	26.00	36.00
当期実績	—	—	—		
前期実績 (2026年3月期)	—	10.00	—	24.00	34.00

修正の理由

2026年3月期をスタートとする中期経営計画「SHINKA Plus ONE 2.0」期間中の株主配当につきましては、連結配当性向50%、又はD0E3.5%を目安に安定的な配当を継続的に実施することとし、年間配当は19円を下限とする方針としております。

上記の基本方針及び今回の業績予想修正等を踏まえ、2027年3月期の期末配当金につきましては、前回予想から2円増配となる1株当たり26円に修正いたします。なお、1株当たり年間配当金は、中間配当金10円（予想）を合わせた1株当たり36円となる予定です。

※業績予想につきましては、発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績等は今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

以 上